■討　論

－大村市水道事業給水条例の一部を改正する条例－

＜賛　成＞

●常に安全で安定的に水を供給するには、多額の費用が必要である。この費用は、税金ではなく、水道料金で賄われている。また、料金値上げの方針について、市内８か所で市民説明会を行い、参加者に意見を聞いた結果、約７割の方から賛同を得られている。

＜反　対＞

●消費税の増税や年金支給額の引き下げにより、家計は冷え込んだままの状態が続いている。水道料金の値上げをすれば、市民の生活をますます厳しい状況に追い詰めてしまう可能性がある。

―平成27年度大村市一般会計補正予算（第５号）―

＜賛　成＞

●何事にもメリットとデメリットがある。これから我が国が迎える高齢化社会において社会保障の効率化は、なくてはならない。また、東日本大震災に関する報道の中に、当時の仙台市長が、マイナンバー制度が整備されていれば、もっと多くの命が救えたというコメントがあった。個人情報が共有されるのをデメリットと考えるのか、それともメリットと考えるのか。私は、メリットが大きいと思う。

＜反　対＞

●今回の補正予算には、マイナンバー制度に関するものが含まれている。同制度に対しては、以前から、情報漏えい及びプライバシーの侵害につながる危険性について指摘しており、制度そのものに反対している。

―平成28年度大村市一般会計予算―

＜賛　成＞

●住宅等リフォーム緊急支援事業など経済波及効果がある事業は、補正予算を組むなど、真剣に考えていく必要がある。ただ、本案を通さないと平成28年度の予算を執行できず、大村市の事業が停滞してしまう。

●子どもの学習支援事業は、貧困の連鎖を断ち切ることができる。行政がすべての子どもたちに提供できる最大の財産は教育である。このような事業をどんどん拡充し、推進してほしい。

＜反　対＞

●住宅等リフォーム緊急支援事業は、市民や事業者から、経済波及効果が高く、気軽に活用できると喜ばれ、継続を願う声が上がっている。この事業は恒久化すべきである。

―大村市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例―

＜賛　成＞

●近年、行政事務が非常に増えてきていることから、さきの議会において、市の職員定数を増員する議案が出された。当然、行政が出した議案を審議する議会側の事務量も増えている。

＜反　対＞

●今回提出された議案は、国の人事院勧告に準じて改定された市長と副市長の期末手当の引き上げ率と同じ率で議員の期末手当を引き上げる内容であり、これまで議会独自で報酬を見直すとしてきた方針と整合性が図られているとは言い難い。また、大村市民の給与所得が増額している明らかな数値が示されているのであれば、市民にも納得をいただけるが、現状はそうではなく、このような経済状況下で議員の期末手当を増額することは、市民に対し説明責任を果たす自信がない。

◆他の議会からの行政視察受入れ一覧◆

大村市議会では、本市の特色ある事業や取り組みについて、全国各地の議会からの行政視察の受入れを行っています。２月から４月までの受入れ状況は、下記のとおりです。（平成28年4月30日現在）

＊人数は、議員、理事者、議会事務局随行も含む

月日	市議会名	委員会・会派名	人数	内　　容
2月15日	五島市議会	芯風会・公明会	５名	認定こども園の運営について
3月29日	北海道岩見沢市議会	無会派	１名	おおむらじげたまグランプリの取り組みについて
3月29日	福井県鯖江市議会	清風会	３名	中心市街地活性化基本計画について